

**JA 全農杯全国小学生選抜サッカー IN 中国**  
兼 第 16 回中国ユースサッカーU-12 ジョイフル大会開催要項

1. 趣 旨 子どもたちが、サッカー競技を通して身体を鍛え、フェアプレーの精神を培い、正しく力強く生きることを願って開催する。
2. 名 称 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー IN 中国  
兼 第 16 回中国ユースサッカーU-12 ジョイフル大会
3. 主 催 一般社団法人中国サッカー協会 日刊スポーツ新聞社
4. 後 援 公益財団法人日本サッカー協会、岡山県、岡山市教育委員会
5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会 ( JA 全農 )
6. 協 賛 島根県農業協同組合  
株式会社 ナイキジャパン
7. 主 管 一般社団法人中国サッカー協会第 4 種委員会  
一般財団法人岡山県サッカー協会・同第 4 種委員会
8. 期 日 2018 年(平成 30 年) 4 月 7 日(土) ~ 8 日(日)
9. 会 場 美作ラグビー・サッカー場
10. 参加チーム数 中国 5 県より推薦団体 2 チームずつ(開催県は 4 チーム) 合計 12 チーム  
開催県 4 チーム+他の県は 2 チーム×4 県
11. 参加資格
  - ・大会実施年度に第 4 種加盟登録した団体(チーム)であること。(準加盟チーム含む)
  - ・上記団体(チーム)に所属する選手であり、(公財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有する者。
  - ・登録申請中の者(登録番号がなく選手カード未保有者)は、登録申請に関する書類写し(Web 登録のプリントアウト)を持参し、選手資格確認を受けること。
  - ・各県協会の推薦を受けたチームであること。
  - ・原則としてチーム編成は、引率指導者 2 名以上 3 名以内、選手 16 名以上 20 名以内とする。ただし、試合毎のエントリーは 16 名とする。
  - ・ゴールキーパーのユニフォームは、ビブス着用でも可とする。(背番号は不問)
  - ・引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、内 1 名以上本協会公認コーチ資格(D 級コーチ以上)を有すること。
  - ・参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
  - ・選手は必ず傷害保険に加入していること。
  - ・各県大会から中国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
12. 試 合 別紙大会方法・日程による。 ※抽選により組合せ決定。
  - ①第一ラウンド(予選リーグ)及び決勝トーナメントを行う。
  - ②第一ラウンドは 12 チームを 3 チーム 4 グループのリーグ戦を行い、上位 1 チームが決勝トーナメントに進出する。2 位・3 位チームは、フレンドリーマッチを行う。  
※順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。  
勝点は、勝ち:3 点、引き分け:1 点、負け:0 点とする。

但し、勝ち点と同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チームとの対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。

- 13.規則
- ①大会実施年度(公財)日本サッカー協会競技規則(JFA 8人制サッカー競技規則)に準ずる。
  - ②試合時間は12分×3ピリオドとし、ピリオド間のインターバルは第1ピリオドと第2ピリオド間は選手総替えに要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は3分以内とする。
    - ・第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総替えすること。第3ピリオドは自由な交代とする。
    - ※ 極端な身体の不調などの場合を除き、全員必ず1ピリオド以上2ピリオド以下の時間をプレーするものとする。
    - ・3ピリオド目の中間点で、両チーム攻めるコートを変える。再開はキックオフとし、3ピリオド開始のキックオフと反対のチームが行う。
    - ・勝敗が決しない場合は引き分けとする。(第1次ラウンド)
  - ③決勝トーナメントは、各グループ上位1位チーム合計4チームで行う。
    - ※試合時間36分で勝敗が決しない場合は、6分(前・後半3分)の延長戦を行い、前後半コートの入れ替えをする。(Vゴール方式は採用しない)それでも決しない場合は、PK方式(3人ずつ)によって勝敗を決定する。
    - 延長戦は3ピリオドの延長とし、3ピリオドの最終メンバーでキックオフを行う。
    - ※3位決定戦を行う。
  - ④交代のできる人数:自由な交代制を適用する。
  - ⑤競技者の数:8人(内1人はゴールキーパー)
  - ⑥競技のフィールド
    - ・ピッチサイズ:縦68m×横50mを原則とする。ただし、競技場の都合により変更する場合がある。
    - ・ペナルティーエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールライン直角に12m
    - ・ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールライン直角に4m
    - ・センターサークルの半径:7m
    - ・ペナルティーマーク:8m
    - ・ペナルティーアーク:7m
    - ・ゴールの大きさ:少年用ゴール(2.15m×5m)
  - ⑦試合球は、「ナイキ・4号球」を使用する。
  - ⑧JFAユニフォーム規定による。
    - ・ユニフォームは(シャツ・パンツ・ストッキング)、正副異色の2着を用意すること。
    - ・背番号は、服地と明確に区別しうる色彩(服地が縞柄の場合には、台紙を付ける)であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
    - ・番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。
  - ⑨審判1人制とする。 ※補助審判(スタンバイレフェリー採用) 記録・交代管理
  - ⑩雨天の場合も決行する。
  - ⑪フレンドリーマッチにおいては、エントリー選手全員を出場させることができるが、第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総替えすること。第3ピリオドは自由な交代とする。

#### 14. テクニカルエリア

- ①テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者2名以上3名以内とする。
- ②その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。